

# 原材料への 取り組み

## 概要

食品、飲料、製菓の各業界にシステムとコンポーネントを供給するグローバルリーダーとして、GEAは人と地球の両方に弊社の事業が多大な影響を及ぼすことを認識しており、製品に使用されている原材料が及ぼす多大な悪影響を最小限に抑えるよう努めています。こうした取り組みの観点から、GEAは原材料調達を特に重要視する形で、バリューチェーン全体を通して人権と環境基準に準拠していけるように、確固たる取り組みの表明を目指します。

GEAは、原材料の持続可能な調達への取り組みを設定するにあたり、責任の重さを認識しています。したがって、GEAは持続可能で環境に配慮した業界として、増大していく世界的な需要に対応していくため、かかる取り組みの統括的な価値と行動の一極集中化を採用しています。最初に、原材料への取り組みとは、自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) の推奨、および本稿に記載した活動と対策を組み合わせたものです。この取り組みの狙いは、続くステップとして従うべき包括的で持続可能な原材料ポリシーの基礎を築くことです。持続可能な調達とサプライチェーンのビジョンに沿った公平なバリューチェーンを確保するため、原材料の調達慣行およびサプライヤーと同業他社との協力について、原材料採取におけるGEAの責任を未来ポリシーに規定するべきです。

「サプライヤーと弊社は、サプライチェーン全体を通して、優れた環境と最高度の社会基準を促進します」

## サプライチェーン全体の分析

弊社ビジョンを行動に移すにあたり、GEAが認識していることは、どのように活動がバリューチェーン全体に影響を及ぼし、自然に依存することが必要であるかを理解することです。2024年にGEAは、TNFDおよび企業サステナビリティ報告指令 (CSRD) が推奨する、LEAP法で影響と依存度の分析に着手しました。この方法は、四つのフェーズからなる自然関連リスクと案件管理の評価プロセスです。

- 場所自然との境界
- 評価依存関係と影響
- 分析リスクと案件
- 準備自然関連リスクと案件に対応し、それについて報告

GEAは自然関連の問題を理解および管理する上で、評価フェーズを強力な基盤およびキーとして受け止めています。TNFDフレームワークとの整合性で、GEAは、場所、下流、そして上流の各バリューチェーンを考慮した基本データ分析を行いました。世界規模のサプライチェーンと調達活動を行っているため、この分析でGEAはサプライチェーンに特別の注意を払っています。つまり、GEAは温室効果ガスの排出量といった自然への影響を定量化するため、幾つかの重要なパラメーターを調べ、購入した製品とサービスについて(2023年以降の支出ベースデータ)、科学的なアプローチを用い、商品群ごと国ごとのライフサイクルインベントリーデータを判定したということです。

この評価は、GEAサプライチェーンの調達地域ごとにおける、様々な製品群が及ぼす自然への影響について、分かりやすい兆候で示してくれます。結果からGEAは、自然関連の影響という観点から、地理的ホットスポットと重点製品群を理解できます。結果が示しているのは、購入した鋼関連製品群が上述パラメーターに多大な影響を及ぼしているということです。

GEAが認識しているのは、弊社の生産工程に極めて重要な商品である鋼材は、影響の大きい商品と見なされていることです。金属の採取と加工は、温室効果ガスの排出量だけではなく、環境汚染、さらにはサプライ

チェーンで材料に使用する水に影響を及ぼします。GEAは悪影響を緩和し、持続可能なサプライチェーンに向けた行動計画を立てることで、影響の大きい商品に尽力します。

## ステークホルダーエンゲージメント

GEA が認知しているのは、原材料の対応可能な調達こそが、「より良い世界のためのエンジニアリング」という主張の根幹だということです。それが、鋼材や「紛争鉱物」の採取といった、特に重要な分野の問題に、弊社が積極的な措置を講じてきた理由です。原材料の採取、取引、および加工は本来、バリューチェーンの様々な段階において、大勢のステークホルダーを巻き込むものです。したがって、バリューチェーン参加者間の連帯協力は、この分野では特に重要です。この理由により GEA は、原材料業界の持続可能性を高め、悪影響を最小限に抑えるため、サプライヤー、同業他社、および協力会社に力を入れて提案しているわけです。

そして、すでに GEA は今日この分野で活躍しています。「製鉄でのカーボンニュートラル目指す国際イニシアチブ」などで、GEA は様々な段階のバリューチェーンやサードパーティ出身のパートナーと協力し、人権と環境に及ぼす原材料業界への影響に関して、業界規模の基準確立となる、プロセス、認証、検証を開発していきます。その結果として、作成した基準書が、原材料と原材料を使用した製品の持続可能性を透明性ある評価を行うのに役立つので、持続可能な生産した製品の購入を躊躇うことなく決定できます。これに基づき GEA は、「ResponsibleSteel」、「科学に基づく目標設定イニシアチブ」、「ISO 14076」といった、サードパーティが認証した製品を購入しました。GEA は、サードパーティが持続可能性を検証した原材料のシェアを徐々に高めていくという明確な目標を設定しました。

業界他社とパートナーとの協働に加えて、GEA は原材料の持続可能性を確かなものにするため、特にサプライヤーに対応しました。REACH 規制 (化学物質の登録・評価・認可・制限) 導入への準拠は、GEA にとって当然のことであり、弊社の一般利用規約において明確に規定されています。加えて、GEA は供給する全製品の原産地証明書を提供するよう、サプライヤーに求めています。GEA は、サプライヤーの購入慣行もサードパーティ監査役に定期的にチェックさせ、必要に応じて改善を求めています。原材料の真髄に向けてサプライチェーンの追求と洞察を行い、直接サプライヤーとの密な協力を開始します。しかし、そこで終わってはいけません。将来において GEA は、持続可能なサプライヤーの決定に、サプライチェーンの透明性を実現するため、Tier 1 サプライヤーを超えた透明性とデータ可用性への投資を強化していきます。

## サプライチェーン透明性

GEA は、弊社の原材料サプライチェーンの透明性とトレーサビリティを、継続して改善していくよう努めます。上述のサプライチェーン分析は、GEA 購入データに基づいています。より多くの情報に基づいた評価と決定を GEA は行うため、Tier 1 を超えたサプライヤーのデータと情報の収集に GEA は注力していきます。環境への害と人権侵害を緩和するため、リスク地域を特定し、効果的な予防措置を講じる上で、精確な原材料データが不可欠であることを認識しています。特にデータインフラストラクチャーの向上、および製品を超えた原材料の理解を広げることで、GEA は持続可能な目標に沿って情報に基づく決定を下すため、かかる能力強化を目指します。過去数年間にわたり、GEA は原材料のトレーサビリティ向上に、継続して新しいソリューションを導入しました。この分野における包括的なプロジェクトは、現在進展している GlobalSAP の導入です。

この時点まで、GEA は人工知能の分野における最近の成果でサポートした、既存のソリューションの継続した開発と改善を進めていきます。このテクノロジーが、購入製品に使用されている原材料への理解を深め、GEA のサプライチェーン洞察を深めるサポートをしてくれます。このようにして、商品の流れを透明にし、持続可能な未来に向けて、原材料の採掘と取引に影響を及ぼします。

## ガバナンス

この原材料への取り組みは、GEA 役員会で承認され、持続可能な未来に向けた会社の取り組みという証です。取り組みへの措置は、世界の国際企業を運営する責任を負う、役員会の指導の下で実施されます。GEA 操業への尽力、そして GEA の包括的な人権ポリシーと環境責任ポリシーを互いに結び付けて統合化することで、GEA は原材料の採取と使用の公平な条件に向けて前進し、それに伴う人、環境、地球への悪影響を最小限に抑えます。この取り組みは弊社ステークホルダーに包み隠すことなく伝達され、個々人の役割と責任で持続可能なイニシアティブを実現させる、説明責任、義務、協力を共有する文化に持って行くことです。

## 次のステップ

GEA が前進していくにつれ、透明性の向上と調達した原材料に関する持続可能性を絶えず追求していく形で、将来の持続可能な原材料ポリシーの一環として、この取り組みに必要な見直しと更新を継続していくことでしょう。現在の目標達成に適切な措置を講じるよう努め、追加する原材料の目標を設定し、ステークホルダーとの協力を促進する形で、この導入プロセスは GEA との学習と成長の道程となるでしょう。こうした努力を通して、GEA は原材料の公平な取り扱いに意義ある貢献を目指します。